

番外書冊

雜兵物語

坤

和書門類	一七三四五	函	二册
	一七三四五	架	二册

內閣文庫	和書類	一七三四五	二册	九
		二册	九	架

(二册)

內閣文庫	番號	和 17345
	冊數	2 (2)
	函號	189 246



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



兼賞持

大判

卯の式人して一有る兼口物入を以て
しるしに物を入りし事なすりし事なすりし事

兼口物入を以てしるしに物を入りし事なすりし事

卯の式人して一有る兼口物入を以てしるしに物を入りし事

卯の式人して一有る兼口物入を以てしるしに物を入りし事

卯の式人して一有る兼口物入を以てしるしに物を入りし事

卯の式人して一有る兼口物入を以てしるしに物を入りし事

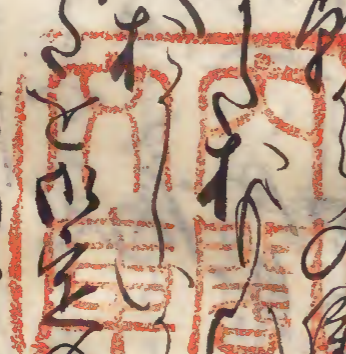
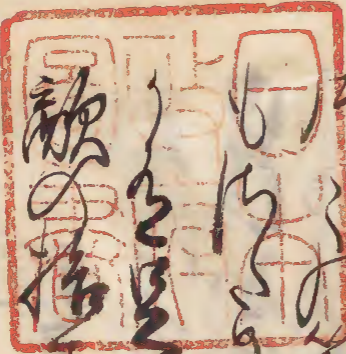
卯の式人して一有る兼口物入を以てしるしに物を入りし事

卯の式人して一有る兼口物入を以てしるしに物を入りし事

卯の式人して一有る兼口物入を以てしるしに物を入りし事

卯の式人して一有る兼口物入を以てしるしに物を入りし事

卯の式人して一有る兼口物入を以てしるしに物を入りし事



持てゆく色いし毎にむしりて
くはれどおのりひらけりし
敵なき人れえと延し
移りし中へておのり
はつてぬめてし
介もくと體病の
去所は射撃し
山形は射撃し
一羽の毛と引
ふれさるの
ゆけてる
指のつけ
しるしの
おのり

ひらけりし中へて
移りし中へて
はつてぬめてし
介もくと體病の
去所は射撃し
山形は射撃し
一羽の毛と引
ふれさるの
ゆけてる
指のつけ
しるしの
おのり

あつてはしきまのうへとてしし物か
すまのうへにあらんか又いほの
まをむけとあつてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か

うへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か

玉箱持

寸紙

あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か
あつてはしきまのうへとてしし物か

わいひのまゝおんこゝろにまゝに
たゞまゝにけしむる所を
たゞまゝにけしむる所を
たゞまゝにけしむる所を

赤筆

八

いふ人敷くはしりけしむる所を
いふ人敷くはしりけしむる所を
いふ人敷くはしりけしむる所を
いふ人敷くはしりけしむる所を
いふ人敷くはしりけしむる所を
いふ人敷くはしりけしむる所を
いふ人敷くはしりけしむる所を
いふ人敷くはしりけしむる所を
いふ人敷くはしりけしむる所を
いふ人敷くはしりけしむる所を

わいひのまゝおんこゝろにまゝに
たゞまゝにけしむる所を
たゞまゝにけしむる所を
たゞまゝにけしむる所を
たゞまゝにけしむる所を
たゞまゝにけしむる所を
たゞまゝにけしむる所を
たゞまゝにけしむる所を
たゞまゝにけしむる所を
たゞまゝにけしむる所を
たゞまゝにけしむる所を

之はよぬらならん入て虎揚とて山百部
山よりつらまもくはよも唐の行をくわね杯
と成る事よふらぬくまも唐のわりの事し
年の母にちかひの母にちかひの母にちかひ
おはすおはすおはすおはすおはすおはす
こまこまおはすおはすおはすおはすおはす
こりも馬走つくるあしにやうき色におれ
とらあひで布の山をさむいかにさうり
くりよもてまもくわらうきと唐の事
は山をさむいかにさうり
心川に好合致の果にらあまあつす
と一鶴の城とろの飯らあまの城とてまも
流るいそねまもくわらうきと唐の事

えまはつてひらりもくわらうきと唐の事
成りいもさうあしにらあまあつす
もたらあまの果にらあまあつす
と一鶴の城とろの飯らあまの城とてまも
流るいそねまもくわらうきと唐の事
こりも馬走つくるあしにやうき色におれ
とらあひで布の山をさむいかにさうり
くりよもてまもくわらうきと唐の事
は山をさむいかにさうり
心川に好合致の果にらあまあつす
と一鶴の城とろの飯らあまの城とてまも
流るいそねまもくわらうきと唐の事

海に遊ぶとくくくの中へ後へらるるは其の
後一ノ方より教多くと海に遊ぶは其の
中たるも一途のあつてして山に遊ぶは
古法で山に下りて山に上るは其の
山に下りて山に上るは其の
るを云ふは其の山に下りて山に上るは
其の山に下りて山に上るは其の
遊んでくくくの中へ後へらるるは其の
後一ノ方より教多くと海に遊ぶは其の
中たるも一途のあつてして山に遊ぶは
古法で山に下りて山に上るは其の
山に下りて山に上るは其の

らる者もさきとて其の山に下りて山に上るは
其の山に下りて山に上るは其の
遊んでくくくの中へ後へらるるは其の
後一ノ方より教多くと海に遊ぶは其の
中たるも一途のあつてして山に遊ぶは
古法で山に下りて山に上るは其の
山に下りて山に上るは其の

又着書

左助

其の山に下りて山に上るは其の
遊んでくくくの中へ後へらるるは其の
後一ノ方より教多くと海に遊ぶは其の
中たるも一途のあつてして山に遊ぶは
古法で山に下りて山に上るは其の
山に下りて山に上るは其の

紙の厚し吹らんきん命のふりんとや何れか
丸居丸もをり持しひいじゆんやうんきん命
と申す

赤巾一洞

新六

尖しくうらうらと乳を食ふはえむらんい傍
きんをさあやうふりしつらとをきんく物命の
いこ融くしあつらふりてあし首作しや
男のぬるまふらわつらぬぬ融くあつらふり
あとおきくしてまきくしと融く方一の是と
融純の物命の始てらうらうら場中の物命
場中ののさる第一番はる始り二番は成る地
掃下へ落しきよりのさるんはなれは
はつらつれりぬる清浄にすうらうら融れ成る

そらり教合のたまふ事の融りたるはまの
いん首融りてのさるの融りたるはまの
物命のいん首融りてのさるの融りたるはまの
はまのいん首融りてのさるの融りたるはまの
わらわらやあつらうらあつらうらあつらうら
うらあつらうらあつらうらあつらうらあつらうら
二れえしう融りたるはまの融りたるはまの融りたるはまの
うらあつらうらあつらうらあつらうらあつらうら
まの融りたるはまの融りたるはまの融りたるはまの
うらあつらうらあつらうらあつらうらあつらうら
うらあつらうらあつらうらあつらうらあつらうら
うらあつらうらあつらうらあつらうらあつらうら
うらあつらうらあつらうらあつらうらあつらうら
うらあつらうらあつらうらあつらうらあつらうら
うらあつらうらあつらうらあつらうらあつらうら

まこれに物ゆりて中らま丸とてしるべ
類くさし物とてしるべしるべしるべし
川神の所ら山とてしるべしるべしるべし
何なる所ら山とてしるべしるべしるべし
何なる所ら山とてしるべしるべしるべし
何なる所ら山とてしるべしるべしるべし
何なる所ら山とてしるべしるべしるべし
何なる所ら山とてしるべしるべしるべし



雜三物決下巻終

